

歳 出 (一般会計)

歳出予算は、平成25年に発生した台風18号災害事業、防災行政無線移動系システムの整備、いきいきらんど下條の屋根補強と太陽光発電システムの設置など、大型事業が終了したため通年規模の予算となっております。

本年度も、行政システムの共同化や、小学校の大規模改修などの新規事業を行うとともに、更なる行政経営の徹底した効率化や、公債費をはじめとする義務的経費の削減により創出された財源を、住民の生活コストの軽減、子育て支援、安全安心な生活環境の整備といった、住民生活に密接した事業に有効活用するなど、きめ細かな事業を行います。

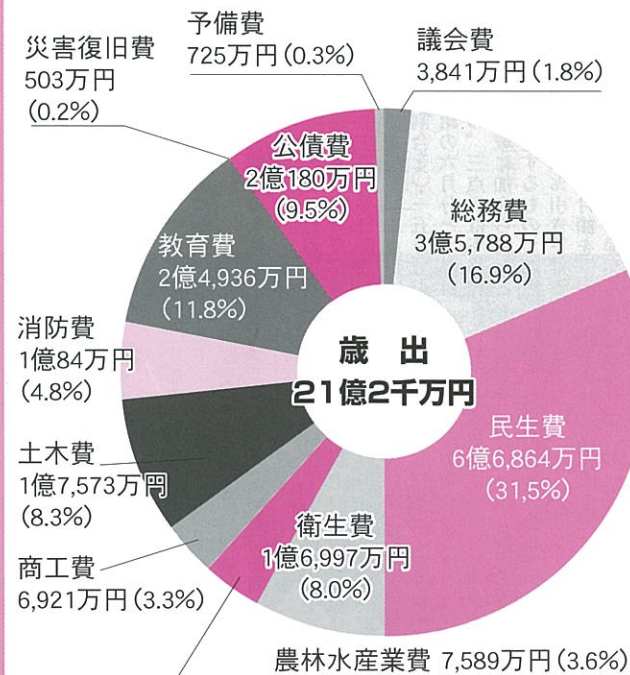
基本方針に基づく主なむらづくり事業 ●新規事業 ○拡充事業

■機能的で快適な活力あるむらづくり(3月補正含む) 217,911 千円

●基幹業務システムの共同利用化(移行費用・番号制度対応含む・汎用運用負担金)	38,125千円
○戸籍管理システムの共同利用化(サーバ・飯田市へ・戸籍副本データ管理に)	7,245千円
○下條村地域創生総合戦略策定事業(3月補正)	5,200千円
ケーブルテレビ・ホームページ等の情報通信基盤運営事業	24,127千円
道路改良舗装事業、維持修繕費	74,754千円
○除雪費・各地区への除雪機配備	24,992千円
協働による生活環境基盤整備事業(資材支給、重機リース料補助等)	10,478千円
道路環境整備事業(徐伐採委託・謝金、花いっぱい運動)	4,043千円
住宅リフォーム等補助事業(25%上限20万円)	8,000千円
定住促進住宅新築改築等補助事業・新築(上限100万円)、中古(上限50万円)	7,000千円
増改築の10%(上限50万円)	
○定住促進住宅用地取得等補助金・造成費を含む取得費の50%(上限100万円)	4,000千円
○移住促進事業(定住支援金20万円/1人、新卒者就職支援金10万円/1人ほか)(3月補正)	3,000千円
○若者定住促進事業(第1期)「ア・W・F」環境の整備等(3月補正)	1,135千円
南部公共交通対策事業(南部公共バス運営負担金)	5,525千円
リニア時代への対応検討(建設に伴う残土利用、土地対策等を含む)	287千円

■安心安全で魅力溢れるむらづくり 85,909 千円

○県防災無線更新事業(負担金)	11,300千円
○地域防災計画の見直し、ハザードマップ作成	4,140千円
○南信地域町村交通災害共済全村民加入(保険料を全額村負担)	1,365千円
有害鳥獣駆除対策事業	7,571千円
○消火栓格納庫更新、消火栓新設、防火水槽改修、消火器詰め替え補助	4,172千円
住宅耐震診断、住宅耐震改修補助	1,390千円
○小学校体育館防災機能強化事業	50,058千円
○小学校体育館屋根塗装工事	4,638千円
通学路安全対策事業(ブロック塀耐震診断・改修補助)	1,275千円



■みんなが集い新たな発想で個性が映えるむらづくり(3月補正含む) 639,526 千円

GHV(グッド・ヘルス・ビレッジ)事業	331,646千円
在宅老人支援、各種健康診断、運動指導、介護予防事業など(以下掲載事業以外分)	
子宮頸がん・ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・インフルエンザなど予防接種事業	12,192千円
【子育て支援・少子化対策事業】	263,558千円
・母子保健支援事業(不妊治療費助成事業、妊婦健診、母乳育児相談など)	6,395千円
・出産祝い金(H26より第2子5万円を新設、第3子以降10万円を20万円)	3,000千円
○多子世帯育児支援事業(3歳未満第3子以降へ5,000円/月の商品券)(3月補正)	1,456千円
○小中学校入学者給付制度の拡充(小学校3万円、中学校6万円の商品券支給)	3,570千円
・子育て支援センター、学童保育、学童クラブ運営	3,314千円
・児童手当支給事業	77,400千円
○子育て世代臨時特別給付金事業(対象児童1人3,000円)	2,152千円
○保育料の引下げ拡充(第3子以降の保育料無料化)	24,200千円
・給食費補助金(H26より50%へ拡充)・そば給食等	12,753千円
・高校生までの医療費支援事業(村単独分)	6,224千円
・小学校学習相談・支援推進事業(村単で相談室学級支援教諭の配置等)	7,395千円
・中学校学習、不登校相談支援事業(村単で支援教員2名の配置)	10,015千円
・中学生海外研修補助	4,984千円
・教育ローン保証料補助事業	700千円
○子育て応援基金積立	100,000千円
○臨時福祉給付金事業(対象者1人6,000円)	3,900千円
在宅介護しあわせ推進事業(在宅介護慰労金の支給)	7,200千円
年齢75歳以上の医療費支援事業(5割支援)	15,568千円
年齢70歳以上75歳未満の医療費支援事業(70~71歳6割、72~74歳3割支援)	2,202千円
福祉バス(入)の運行	2,510千円
自立生活支援住宅改修補助金(補助率80%、上限8万円)	480千円
人工透析患者通院補助	270千円

■環境に配慮し自然と調和したむらづくり 97,786 千円

LED防犯灯設置補助	990千円
生活排水適正処理施設(合併浄化槽)設置事業	7,252千円
合併浄化槽保守点検料補助事業(3/4補助)	13,113千円
合併浄化槽清掃(汚泥引き)料補助事業(1/2補助)	6,483千円
合併浄化槽法定検査料補助(全額補助)	2,879千円
太陽光発電設備設置補助事業	2,000千円
ゴミ収集処理事業(桐林燃やすごみ中間処理施設・泰早刈・池ヶ負担金等含む)	64,469千円
生ごみ処理機補助事業(1/2補助)	600千円

■ふれあいと交流、地域の特色を生かしたむらづくり(3月補正含む) 61,921 千円

地域づくり交付金事業・地域づくり特別交付金事業	3,000千円
中山間地域等直接支払交付金事業	11,098千円
○多面的機能支払交付金事業(5地区)	829千円
特産品育成事業(そば・親田芋味大根など)	5,687千円
○そばの城トイレ洋式化	3,489千円
商業活性化対策事業(緊急不況対策保証料補助、緊急雇用奨励補助等)	17,000千円
○消費喚起プレミアム商品券発行事業(プレミアム率10%→20%)(3月補正)	6,143千円
○観光客誘客促進事業(食事、宿泊費の補助等)(3月補正)	4,650千円
○農産物直売所機能強化事業(餅つき機等導入補助)	2,135千円
園芸振興補助事業(雨よけ施設資材補助等)	3,890千円
○森林整備地域活動支援交付金(森林経営計画策定の推進等)	4,000千円

平成27年度当初予算 一般会計 21億2千万円

『生活コスト削減・子育て支援に向けたきめ細かな村づくり』をめざして (前年度比3億8千万円減)

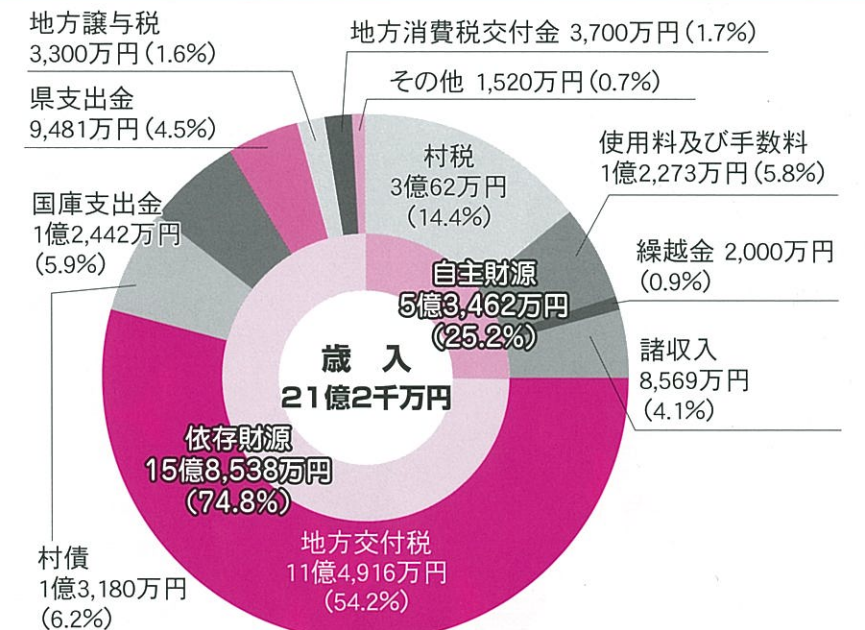
特別会計 (4会計) 9億9,400万円

国民健康保険	4億 900万円	後期高齢者医療	4,300万円
介護保険	4億1,700万円	村営水道	1億2,500万円

歳 入 (一般会計)

歳入全体に対する自主財源は、昨年積立てた基金の取り崩しなどは行わず、保育料の引下げなどの実施により、15.0%減の5億3,462万円と昨年度より9,410万円の減額となりました。

依存財源は、災害復旧費の国・県支出金、移動系無線システムの整備などが完了し、地方債の借入が減少したため、15.3%減の15億8,538万円と減額となりました。



村民1人当たり 530,265円/年 (人口 3,998人 平成27年3月1日現在)

議会費 9,606円 (1.8%) 議会運営に	総務費 89,515円 (16.9%) 職員給与など行政運営と積立金	民生費 167,243円 (31.5%) 福祉や将来の暮らしのために	衛生費 42,514円 (8.0%) ゴミ処理や健康のために	農林水産業費 18,981円 (3.6%) 農林業の振興と活性化に
商工費 17,311円 (3.3%) 観光・商工業の振興と活性化に	土木費 43,954円 (8.3%) 道路整備など住みよい村のために	消防費 25,224円 (4.8%) 防災活動や災害予防に	教育費 62,371円 (11.8%) 教育のために	災害復旧費 1,258円 (0.2%) 公共施設・農地・農業施設の復旧費に
公債費 50,475円 (9.5%) 借入金の返済に(繰上分も含みます)				